



郷田っ子

江津市立郷田小学校
学校だより
令和6年9月10日
(校長 平田 裕)

9月日に始業式を行い、2学期がスタートしました。夏休み中に2名の児童の転出がありましたので、全校児童86名となりました。夏休み中には、児童・職員ともに大きな事故や病気もなく過ごせたことをうれしく感じているところです。

下の表のように、2学期には様々な行事等が予定されています。これまで同様にご支援・ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

2学期の主な予定

9月28日 運動会（雨天順延）	11月9日 学習発表会 わくわく祭り
10月10日 授業公開 PTA研修会	15日 江津市小中音楽会
17日 就学時健康診断	12月3日 県学力調査（～4日）
25日 遠足（1～4年）	25日 終業式

全国学力・学習状況調査の結果が返ってきました

4月に6年生が受けた全国学力・学習状況調査の結果が返ってきました。国語は正答率70%で全国の67.7%を2.3ポイント上回りました。また算数でも68%で全国の63.4%を4.6ポイント上回っています。よく頑張りました。

ただ、手放しで喜べない実態があることも分かってきました。国語では、上位層と下位層に分かれ、グラフにすると「フタコブラクダ」のようになっています。算数では、おかしい例えですが、「ミツコブラクダ」のようになります。十分力をつけている子がいる半面、まだまだ力をつけきっていない子もいるという状況です。

もう1つ、課題が見つかりました。国語の「書くこと（思考力・判断力・表現力）」のポイントだけが、極端に低いということです。全国よりも13.9%も低いです。

どんな問題が出たのでしょうか。記述問題の問いの一部を載せます。

・・・あなたが高山さんなら に入る内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉○「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書くこと（あと2つの条件は省略します。）

・・・あなたなら、【物語】を読んで、心に残ったその理由をどのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉心に残ったところと、心に残った理由を書くこと。（あと2つの条件は省略します。）

上の問題では「あなたが高山さんなら」「考えたことを書くこと」、下の問題では「あなたなら」「心に残ったところと、心に残った理由を」のあたりが肝になります。

これまでの伝統的な記述問題では、文章の中から記述に使う箇所を見つけてまとめて書けばよかったのですが、これらの問題は違います。「自分の考え」を書く、「自分の心に残ったこと」を書くのです。正解は一つに定まりません。考えたことや感じたことは、人それぞれだからです。

こうした問題は、先生が教えてくれたことを暗記し、テストではそれを正確に素早く書くといったことでは解答できません。これまでのような学び方だけでは、通用しない時代が来ています。

なぜタブレット？

- 3年後の2027年から全国学力・学習状況調査はタブレットを使って実施することが決まっています。今の3年生が6年生になってすぐの4月に受けるテストは紙ではなくなります。最低限の技能として、タイピングが出来なければ話になりません。郷田小学校では週2回、授業が始まる前の朝活動の時間にタイピングやタブレットドリルなどに取り組んでいます。
- 時代は自立した学習者を求めています。「教師が教える授業」から「子どもが学びとる授業」へと授業観も変わりつつあります。教師が教える授業とは、子どもは先生の説明を聞き、先生が出した問題に手を挙げて、当てられた子が答えるといったものです。子どもが学びとる授業では、学習内容や学習方法を子ども自身が選び、必要な知識・技能をつなげて思考・判断・表現します。その際、対話を通して考えを広げたり深めたりします。また、自分の学びを振り返り、どんなことが身に付いたか、学び方はどうだったかと自問します。こうした学習にタブレット等のICT機器はたいへん有効なのです。
- 今やタブレットは文房具であり教材でもあります。学校以外の場所（ほとんどは家庭）で勉強するときに、鉛筆や消しゴム、教科書やノートが必要なように、タブレットは必需品です。ですから郷田小学校ではタブレットの持ち帰りを行っています。いつでもどこでも学べるようにするためです。先進校に視察に行くと、学びを深める学習や調べ学習をタブレットで行うなど、ドリルや紙面での宿題ではなくなってきました。学校からタブレットで配信された宿題を、タブレットを通して先生に提出することも当たり前に行われています。今後こうした流れはますます加速していくと考えられます。
- 持ち帰ったタブレットでゲームばかりする。勉強に関係ないユーチューブをずっと見ている。だから持ち帰らせないほうが良いという方もいます。子どもですから、こうした失敗をすることもあられるでしょう。しかしタブレットを使いこなせるようになると、勉強の質が格段に上がります。自転車に乗れるようになった子は行動範囲が広がり、歩いていた時に比べて移動時間も格段に短くなります。しかしそうなる前には乗る練習をしなければなりません。練習中に転んでけがをすることもあられるでしょう。タブレットを使い始めた子どもの失敗も自転車に乗るための練習でのけがのようなものです。そこから学んでいくのです。ご家庭のご協力が欠かせません。
- 江津市教育委員会は「江津市GIGAスクール構想（R6～R11）」を示しています。全体構想「未来を生きる子ども達に必要な資質・能力を育成するために」を掲げ、「江津市が目指す子どもの姿」として、次の3つを掲げています。

- ・ ICTを効果的に活用できる子どもの育成
- ・ 必要な情報を選択し、活用できる子どもの育成
- ・ 情報モラルを身につけた子ども育成

Phase 1（R6～8年度）合言葉は、「毎日、毎朝スイッチオン」です。

運動会

9月28日（土）に運動会を行います。暑さを考慮してこれまでより2週間ほど遅い開催です。入場制限は特に設けていません。ご家族のみなさんだけでなく、地域の皆様の参観も歓迎します。「うちの孫はおらんけえ」と言わず、ぜひ郷田っ子のがんばりを見に来てください。